

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立野崎西小学校
作成日	令和 7年 3月 7日

1 教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に主体的に対応してたくましく生きる心豊かな児童の育成に努める

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国、県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均以上を目指す ・毎日の授業がわかる90% ・児童の興味、関心、意欲を引き出させる指導の工夫をしている 100%	・学校が楽しいと感じる 90%以上 ・道徳教材の活用 100% ・いじめの解消率 100%	・朝ごはんを食べた 100% ・積極的に運動を行うよう、計画し実践した（教師90%）	・学校の様子がよく伝わった（保護者95%） ・子どもは学校の出来事をよく話す 95%
意見重点目標に対する	・点数だけで人間の価値ははかれない。 ・教師は教育のプロであるという自覚で引き続き頑張っていたきたい。	・道徳の授業を参観したが、しっかりと登場人物の立場に立って考えることができていた。	・朝ごはんを食べるのは当たり前のことだが、あえて目標に設定しなければならないことが信じられない。	・登校時、元気に挨拶してくれる。 ・虐待などの情報が入り次第、すぐに通報していきたい。
意見取組状況に対する	・高学年については落ち着いて学習できている。 ・低学年は個別に指導を必要とする児童が授業妨害などを起こすため、周囲の児童の学習保障が必要である。	・見ている限りはとても仲良く活動できている。	・休憩時間など、多くの児童が運動場で活発に運動できていた。 ・保護者が、自分の子どもをきちんと育てられない家庭が多いことにも驚いている。 ・髪を染めてる児童が多く見られ、子どもの健康をもう少し考えてほしい。	・子どもは自分の都合の悪いことは言わないため、学校は事実確認をしっかりとってもらいたい。
に取組に対する適切さの検証結果	・学習道具がそろっていない児童や、ロッカーをきちんと整理できていない児童の指導はたいへんではあるが、根気強く指導をお願いしたい。	・友だち同士のトラブルの解決は、必ずその日に行って、翌日に持ち込まないようお願いしたい。	・各家庭での状況を把握することは学校でも地域でも難しい面があり、指導することが難しい。	・放課後の出来事など、学校に迷惑をかけず対応する保護者が少ないのに驚いている。
改善年度方法に向けての意見	・先生方は日頃からよくやっている。健康に気をつけ頑張してほしい。	・道徳の授業とともに日常生活において、善悪の判断や指導をきちんと行ってほしい。 ・いじめはいけませんが、ケンカの中で学ぶことも多い。	・指導が必要な家庭には根気強く呼びかけていきたい。	・地域としても良いこと悪いことの指導をできるだけ行っていきたい。

3 その他のご意見

- * 荒れている学級には、保護者の協力や専門機関との連携が必要ではないか。
- * 読み聞かせのボランティアに来たときは静かに聞いているが・・・。
- * 高学年(4～6年)は落ち着いて授業を受けている。